

広聴の方法	性別	年代	地区	件名	キーワード	内容	対応	担当部	担当課	性質	基本方針	基本施策	市政への反映度
広聴広報課(来室)	男	60代	城坤	天満町付近の排水計画		以前にも相談したが、自宅周辺はよく床下浸水の被害に遭っている。 自宅近くに市所有の土地があり、その土地を含めた場所に介護施設の建設予定があると聞いた。もし介護施設が建設されたら、おそらく地上げし建設することと思うので、今以上浸水の被害が出ることを懸念している。以前、相談した際に排水計画の見直しについて下水道課から説明を受けたが、介護施設の建設予定については把握しているのか。その部分も含めて計画を見直す予定なのか知りたい。	下水道課より説明してもらう。 そのような計画があることは全く知らなかったので、動向を確認しながら計画の見直しを進めていくと説明した。	都市整備部	下水道課	質問	安心して暮らせる	生活排水処理施設の整備	説明
広聴広報課(来室)	男			下水処理場建設用地の産廃	公共施設	新聞に、丸亀市が造船会社から約3億8千万円で購入した下水処理場(約130億)建設地から産廃が見つかり、撤去、処分費用に最大10億とあります。同日の新聞を調べると朝日新聞と地元紙四国新聞が報道で、両紙とも処分費が約10億ながら、当該土地の購入代金約3億8千万円の報道がありません。ポイントの1つは、購入後に出た産廃処分費が土地代の倍以上ですが、朝日新聞は書かないことで、革新系市長(旧社会党)の梶正治市長を庇い、四国新聞は以前からですが、関係者の不買を恐れ書く勇気がなく、提言者はこの報道姿勢が嫌で永年の購読を止めています。それはそれとして、14日に9月丸亀市議会を傍聴した折、市が11日に議会に報告した本件報告書(貼付)を担当の下水道課でもらい、議会を傍聴しながら目を通すと、最後の「今後の方針」の「今後の対応」にトンデモナイ記述がありました。報告書によると、当該地は昭和40年に市が海面を埋め立てた土地で、昭和42年に東洋テックスに売却し、平成20年に今治造船に転売されたものを市が平成29年に購入したもので、産廃を埋めたのは東洋テックスのようですが、読売新聞に、市は「損害賠償請求は行わず、同社との協議によって処分費用などの負担を求めていく」とあります。しかし、議会への本件報告書で、東洋テックスの負担額が未定なのに、市が今後の処理の流れを図形化した「今後の対応」に議会が「了承」とあり、議会が追求するふりをして、市民が10億円近い巨費を負担するのが裏で決まっています。これ程の行政の失態なのに、市長、職員の責任は不問で、議会との出来レースで丸亀市民に必要なない10億円近い巨費を負担させるのは無茶です。是正を提言します。	新聞各社などからの報道を通じ、本市が計画する下水道新浄化センター建設予定地より産業廃棄物が出現したこと、そして、このことにより市民の皆様へ安全に対する不安を抱かせるとともに、多大なご心配をお掛けしておりますこと誠に申し訳ございません。 ご指摘いただいた市議会の説明時に用いた資料、「今後の方針」、「今後の対応」中での「了承」の記述につきましては、今後、市と日本下水道事業団が一丸となり、産業廃棄物の処理・処分に向けた解決策を提示してまいります。これは市の機関決定と、市議会の同意を得るなど、「了承」を必要とするという趣旨であります。言葉足らずの記述により、誤解が生じる結果となりましたこと、誠に申し訳ございません。 なお、工事発注している水処理施設建設工事は、産業廃棄物の出現と対策を検討するため、一時中止しております。また、産業廃棄物の処理につきましては、本市と日本下水道事業団で作成しました、丸亀市新浄化センター建設に伴う産業廃棄物処理方針(案)は、香川県廃棄物対策課の了解を得ており、処理・処分費用の負担につきましては、関係機関と協議を行い、解決策を提示してまいりたいと考えております。	都市整備部	下水道課	その他	安心して暮らせる	生活排水処理施設の整備	参考意見として供覧

広聴広報課（来室）	男		下水処理場建設用地の産廃2	公共施設	<p>丸亀市が建設中の下水処理場（約130億円）建設地から産廃が見つかり、新聞報道により処分費約10億円の負担に関する「ひまわり通信」を先月19日に出しました。27日に丁寧な回答がありました。別の視点からの再度の提言です。9月12日の四国新聞（貼付）は、産廃の「処分費は約10億円に達する見込み」、市は「施設を建てる場所に限って土壌を掘り起こし、産廃を撤去する方針」と報道で、処分費の約10億円は、市が今治造船から約3億8千万円で購入した土地全ての産廃処分費ではありません。丸亀市は老朽化で取り壊した市民会館跡地に約83億6千万円で新庁舎を建設中で、新市民会館建設の計画も進めています。このように対応年数が永久の施設などなく、当該下水処理施設も、梶市長の何代か後の市長の時に大規模な更新が必要です。四国新聞は、産廃を投機した企業が「処分費の一部を負担する考えを表明している」と報道ですが、上記から、負担は全ての土地に対してではなく、市が最小限で処理する土地の、それも処理費の「一部」の負担です。未処理の産廃が地中に残ります。私は境界を接する隣の坂出市民ですが、産廃を投機した企業に対する梶市長の甘い顔や市民に巨額の負担を背負わせた職員に対する責任を問わない革新系市長の政治姿勢がとても心配です。本件に100%責任のある梶市長が全ての決着をつけるよう提言します。</p>	<p>産業廃棄物混入土の処理・処分につきましては、将来における浄化センターの更新を視野に入れ、今後確保する用地を含めた対象地において、土壌分析調査及び、筋堀等を行うなど産業廃棄物の分布状況調査を行った後、廃棄物の適正な処理・処分を行っていく方針としております。公表されている処分費の10億円につきましては、香川県産業廃棄物対策課の了解を得た「丸亀市新浄化センター建設に伴う産業廃棄物処理方針」に基づき、その経費を算出したものであります。この経費は、対象地中における全ての廃棄物を処理・処分するための経費とはなっておりませんが、本市としては、ご指摘いただいた廃棄物全量の撤去につきましては、現状では行わないこととしております。また、今回公表の10億円につきましても、先に申し上げました現在進めている調査を実施しての見直しを行うことで、費用の低減が図れるものと考えております。</p> <p>現在、経費の負担について、企業と継続した協議を行っておりますが、少しでも市民負担の増大に繋がらないよう努めることは当然でございます。議会をはじめ市民の皆様にご理解がいただけますよう、市長、職員をはじめ、全力で取り組んでまいりますので、ご理解いただきたいと考えております。</p>	都市整備部	下水道課	その他	安心して暮らせる	生活排水処理施設の整備	説明
手紙	男		下水処理場建設用地の産廃3	公共施設	<p>丸亀市が新築移転する下水処理施設（約130億円）用地の地中から産廃が見つかった問題で、市が9月11日に議会に出した報告書の「今後の対応」の【資料2-2】に気になる記述があり「社会的責任の範囲の決定」からの矢印（→）をだどると「（国）国交省・（県）下水道課」の次の「国民の理解」に到達します。</p> <p>本件は、丸亀市が下水処理施設用地の購入で、必要な事前調査を怠り、約3億8千万円で購入した土地から産廃が見つかり処理費が土地価格の倍以上の約10億円になりそうで大騒ぎしている、丸亀市長が笑われ、市民が不必要な税金を使われそうだけの問題です。新聞報道により、産廃の投機者は香川県の優良企業で10億円や20億円は負担でき、今のところ特に危険な産廃は出ておらず、丸亀市に限定される問題であり、解決に「国民の理解」が必要なのか理解できません。処理費が巨額なため丸亀市が国の補助金交付を画策したと思われませんが、全く筋違いな国費の使用になり、梶市町の真意を照会します。</p>	<p>現在の丸亀市浄化センターは、昭和51年の供用開始より40年あまりが経過し、経年による施設の老朽化と合わせ塩害による劣化が著しく進行しているなど、早期の施設再構築が必要となっております。</p> <p>このため、平成26年度に香川県下水道課、国土交通省と協議を行い、国の補助事業としての採択により、具体の計画を定めるに必要となる調査、設計を実施し、事業目的を達成し経済的に最も優れた現行計画での承認を得るなど、平成28年度からの国庫補助事業として進めてきております。</p> <p>現在、産業廃棄物の出現という不測の事態が発生し、工事を中断している状況にありますが、事業計画の目的である新浄化センターの再構築を、予定どおりに進めることが行政が果たすべき役割でありますので、早期の工事再開が図れますよう、市長、職員が一丸となり、全力で取り組んでまいりますので、ご理解いただきたいと考えております。</p>	都市整備部	下水道課	その他	安心して暮らせる	生活排水処理施設の整備	説明

広聴広報課(電話)	女	50代	城北	外堀のゴミ	ゴミ	8月の台風の後、家の前の外堀跡にゴミがたまっていたので、市役所に電話をすると、都市計画課に繋がれた。掃除をしてほしい旨を話すと、その後、課長と担当者が来てくれて現場で30分ほど話し、対応します、ということで帰ったのだが、いつまで経っても何の対応もしてくれない。先日そのことで課長と話したが、あれは下水道課が担当です、と言われた。自分は市役所がすべきことについて市役所をお願いしたのであって、どこの課が担当かなどは知ったことではない。あきれてしまう。また丸亀城にはたくさんの観光客が来てくれるようになり、みな素晴らしいお城ですねとってくれるが、お堀の水は汚いのがっかりされている。このことは何度も市役所、市長に行っているが、まったく改善されない。市長にも面識があるので、お伝えいただきたい。	担当にはしっかり対応するように連絡します。また市長にも伝えます。	都市整備部	都市計画課	苦情	安心して暮らせる	生活排水処理施設の整備	検討中
HPメール				道路工事について	道路	飯山町西坂元の県道18号線(飯峰亭付近)で行われている道路工事で、交通整理が不適切な為に手前のガソリンスタンド前の交差点内で車両が停車し、信号が変わった際に市道側から交差点に入った車両が通行しづらくなり、見通しが悪くなり大変危険。以前も近辺で同じような工事があり、同じ業者の交通整理の不備を指摘したにも関わらず、またも同じことの繰り返しで憤りを感じる。安全を軽視しているとしか思えない。工事の必要性は理解できるが、通行量もそれなりに多く、学生の通学路にもなっており、通行する車両や歩行者の安全確保だけはしっかり指導して欲しい。	該当箇所は下水道工事による道路工事箇所である。下水道課から、施工業者へ安全管理の徹底するよう指導を行う。	都市整備部	下水道課	苦情	安心して暮らせる	生活排水処理施設の整備	実施・改善予定
広聴広報課(電話)	男	50代	城西	水路のゴミ、雑草	生活排水	西中学校南側と母の住宅の間に水路があるが、誰かが捨てたゴミがたくさんたまり、また雑草が生い茂っている。	下水道課が所管する水路であったので、職員が確認し対応することとした。	都市整備部	下水道課	要望	安心して暮らせる	生活排水処理施設の整備	実施・改善予定